

令和3年度 事業計画

【総括】

公益財団法人宮崎県スポーツ協会は、より一層県民の利益の向上に寄与する公益法人の使命を自覚し、加盟団体等と連携して、定款に定める目的にそって、公益目的事業を積極的に推進する。

- ・宮崎県競技力向上対策本部と連携して競技力向上に努める。
- ・加盟団体との意見交換を積極的に進め連携を強化する。
- ・スポーツ界における不祥事防止に向けた啓発に努める。
- ・自主財源確保事業

賛助会員募集、オリジナルシャツ等販売事業、協賛広告募集、自動販売機設置者募集を行い、さらなる財源確保に努める。

1 競技力向上事業

2巡目となる、2027年国民スポーツ大会を見据えた競技力の向上を図るため、関係機関団体と連携しながら、現状分析、事業等の検証と改善、本会、組織運営の強化、指導者の育成等に取り組む。

- (1) 選手強化事業
- (2) ジュニアブリッジ養成事業
- (3) ジュニアクラブ強化指定事業
- (4) 宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト事業
- (5) 加盟団体組織整備事業
- (6) 強化推進事業
 - ・競技団体との協議：11月～1月
 - ・国民体育大会強化指定証交付
 - ・競技団体、選手、指導者の視察、激励
 - ・海外派遣選手等支援事業
 - ・チームみやざきミーティング会議開催
 - ・国体リハーサル大会派遣事業
 - ・社会人アスリート雇用奨励金事業
 - ・競技力向上物品購入支援事業
 - ・アスリート就労支援事業
 - ・ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト修了生支援事業
 - ・みやざきの宝を育てようプロジェクト事業
 - ・ふるさと選手制度活用支援事業
- (7) 国体選手強化事業
 - ・大学、社会人スポーツ支援事業
 - ・トップチーム活用事業
- (8) 国体選手サポート強化事業
 - ・メンタルコーチ活用事業
- (9) 女性アスリート強化対策事業
 - ・女性アスリート支援事業
- (10) 障がい者アスリート支援事業
- (11) チームみやざき強化アドバイザー招へい事業

2 国民体育大会派遣及び関連事業

国民体育大会への選手派遣、帯同コーチ、ドクター、トレーナーの確保、派遣等、試合環境の整備を推進する。

- (1) 国民体育大会九州ブロック大会派遣
 - ・夏季大会：5月～7月、福岡県・鹿児島県で開催
 - ・秋季大会：8月、福岡県で開催
 - ・冬季大会：12月、福岡県で開催
- (2) 国民体育大会派遣
 - ・本大会：9月～10月、三重県で開催
 - ・冬季大会：1月～2月、栃木県（スケート、アイスホッケー）
秋田県（スキー）で開催
- (3) コーチ派遣
- (4) ドクター、トレーナー派遣

3 みやざき県民総合スポーツ祭事業

大会参加者を増加するための広報を強化し、競技者、観戦者の視点に立って開催時期、種目、運営方法等を見直す。

4 スポーツ指導者養成事業

公認スポーツ指導者の活用、活躍に向けて、公認スポーツ指導者資格の啓発、指導者の資質向上に取り組み、地域のスポーツ指導者活用・養成の取組を支援する。

- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導員養成講習会開催
- ・スポーツ指導者研修会開催：2月5日（土）
- ・スポーツ指導者資格取得支援事業

5 地域スポーツ振興事業

競技の普及、競技力の向上、スポーツに対する県民の認識向上のため、加盟団体、報道機関、行政等と連携して、関係事業を推進する。

- (1) 総合型地域スポーツクラブ設立、育成支援
 - ・未設置町村における設置に向けての取り組みを強化する。
 - ・クラブアドバイザーをみやざき広域スポーツセンター（広域センター）に派遣し、広域センター、総合型クラブ連絡協議会と連携して、クラブ関係者連絡会議、クラブ運営研修会、クラブマネージャー研修会等の開催、クラブ訪問、運営指導、市町村主管部局の訪問、設立要請等を行う。
- (2) 加盟団体組織整備補助
- (3) 生涯スポーツ普及活動支援事業
- (4) 第11回宮崎チャレンジマッチ開催
 - ・開催種目 ホッケー競技
 - ・開催期日 7月4日（日）
- (5) （名義後援）
 - ・加盟団体等の事業、大会を後援する。
（共催）
 - ・宮崎縣市町村対抗駅伝競走大会
 - ・宮崎チャレンジマッチ（7月4日（日））

6 スポーツ医・科学事業

宮崎県スポーツ協会認定アスレティックトレーナー（AT）養成講習会を充実させ、ATの確保、活用を推進する。

- ・スポーツ医・科学委員会（会議）開催：年3回
- ・ドーピング防止研修会開催：年2回
- ・メディカルチェック実施：選手約100名を対象に実施予定
- ・スポーツ相談
- ・宮崎県スポーツ協会認定AT養成講習会開催
- ・ドクター、AT養成事業：ドクター、ATを日本スポーツ協会公認講習会に派遣
- ・国民体育大会の帯同ドクター、AT派遣

7 スポーツ顕彰事業

表彰の推薦及び表彰事務の適正化を図る。

- ・スポーツ功労賞
- ・スポーツ優秀賞
- ・スポーツ奨励賞
- ・国民体育大会表彰
- ・スポーツ少年団表彰
- ・スポーツ推進賞

8 スポーツ少年団事業

団員減少、指導者の資質向上、学校及び他のスポーツ団体との連携など、課題解決に組織全体で取り組む。

- (1) 宮崎県中央大会開催：開会式7月11日（日）
- (2) 競技別交流大会開催、同派遣
- (3) スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会開催：年2回
- (4) リーダー研修会開催、同派遣
- (5) 指導者研修会開催、同派遣
- (6) 母集団育成研修会、ブロック別研修会開催

9 広報及び記録収集、活用事業

本会及び加盟団体の活動と本県スポーツに対する認識向上のため、あらゆる機会を利用して、情報を発信する。

- (1) 広報
 - ・広報機関誌発行：年2回、各1,900部配布
 - ・スポーツイベントHP掲載：年4回
 - ・HP運用：加盟団体との連絡手段、各スポーツ少年団の情報掲載、本会事業の写真展示等積極的に活用する。
 - ・SNS活用：Facebook・Twitter・Instagram等を活用した即時の情報発信に努める。
 - ・国民体育大会への関心を高めるために、ポスターやホームページ等を活用した啓発活動に努める。
 - ・広報機関誌「宮崎スポ協」や公式HPを利用し本県スポーツ施設の利用促進等のための情報を発信する。
- (2) 記録収集、活用
 - ・本会、加盟団体の事業、活動記録及び本県スポーツ情報を収集、管理し、県民に提供する。